

みんなの宝 すいざわっ子 まもろう あそぼう 育てよう



昔の遊び

おじいさん、おばあさんたちが、子どもの頃は、現在のようにおもちゃ屋さんが作った品ばかりでなく、自然に生えている竹や木を利用し、竹馬や竹トンボ、布切れで、お手玉、お人形を作ったり、毛糸の残りで、あやとりなど、工夫していた。どんなものでもあそび道具になるんだなあーと遊びの中でよくわかった。

地域の目を光らせ 地域総ぐるみで未来の宝 地域の宝である子どもの安全・安心を守る活動

まちから子どもが消えた

西陵中学校 PTA会長 鎌田泰裕

小学校の帰りに柿を取ろうと木に登っている所をおばさんに見つかり叱られた、その顔はとても丸い顔をしていてニコリ笑っていた。そして家へ着くなりカバンをほうりだして外へ飛び出し真っ暗になるまで山や川で遊んでいた。そんな生活が45年前の私の小学校時代でした。

現在は登下校以外子どもを見かけることがなくなっています。いや外で遊びたくても遊べない状況になってきているということです。この数十年のわずかな間に時代は目まぐるしく変化し、共に子どもたちを取り巻く環境も大きく変わりました。そして子どもに対する犯罪も変わってきました。営利目的・いたずら目的・変質者による犯罪・目的のない犯罪・そして最近ではゲーム感覚での犯罪と内容も変わり件数も増えてきています。

西陵中学校では子どもたちを守るため、昨年は「安全パトロール中」のマグネットシールを新たに作成し、PTA地区委員さんに配布して中学校区内のパトロールを実施していただいております。今年度は今までのところ、不審者や変質者の出没事件はありませんが、下校時最後は一人になり人通りの少ない通学路を帰らなければならない生徒がいます。

国の宝である子どもたちがまちに戻るまで、息の長い活動を今後も続けていきたいと思ひます。学校やPTAもパトロールには限界があり、どうしても地域の皆様の協力をお願いしなければなりません。何とぞ今後も引き続きご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



地域の皆様へお願い

水沢地区連合自治会長 豊田 早男

最近各地で小学生の児童が下校時などの痛ましい事件が発生しております。当地区としても対岸のこととして見過ごせない状況です。自治会では昨年から地域の子どもたちを見守る立場から、車に「安全・安心パトロール」のステッカーを貼ったり、夜光のタスキを作成し随時見守りなど啓発活動を進めております。また、数年前から毎月一回朝の登校時に子どもたちに声かけ運動を実施してふれあいを深めております。しかし最近の子どもに関する事件をみますと学校と保護者だけでなく地域も入って関連団体と情報を共有し地域全体での子どもを見守る姿勢が大事かと考えております。今年に入り学校保護者から「こどもをまもるいえ」の話があり自治会として啓発活動の一環として協力することになりました。今後、地域の方には、お忙しい中、ご都合のつく範囲で子どもの見守りにお力添えをいただき地域の安全とまちづくりへとつなげていきたいと思ひます。

水沢地区の子どもをまもるための提案

水沢保育園保護者会 会長 堤 朱子

○小学校の空き教室を利用して、学童保育所の設置をする。

この地区も働くお母さんが多くなっている。公園や、空き地などの遊び場の安全が保障されない今、学童保育所の設置は急務だと思います。学童保育所があれば、確実に保護者の迎えがあり、子どもたちも宿題などの学力保障もでき、地域の子どものどうしの結びつきも深まると思ひます。

○犬を飼っている方に散歩の時間を下校時間に合わせてもらう。犬に防犯と書いたプレートを背中に貼り、防犯活動をアピールする。

○地域の老人会に制服や目立つジャンパーを着用してもらい、2人一組となって下校時間に通学路を巡回していただく。

○パトカーの巡回だけでなく、車に乗れる方に青色回転灯を配り下校時間に巡回していただく。

○通学路を車から安全な道だけでなく不審者から身を守れるという視点からも再度見直す。

○保育園、小学校、中学校の役員さんの車に、パトロール中というステッカーを貼ってもらう。

○保育園に防犯カメラを設置していただく(今年度中に設置予定)。

○各地区毎日順番で通学路(下校時)に立ち、見守る。



子どもを守るためにどうするか

白寿会会長 森眞壽朗

最近人の命を軽んじる風潮が社会に広がっている。犯罪防止だけでなく、人命の尊さと地域の絆の再生が不可欠だとして昨年の犯罪対策閣僚会議で子どもを守るため全国の小学校を対象とした緊急対策を打ち出し、諸対策が進められている。確かに当面考えられる手は国や地方自治体が打たなくてはならないが安全のためとはいえ子どもを隔離することに力を入れるやり方も必要だが、子どもを外で遊ばせない社会は健全とはいえない。幼いうちから人を疑うことを教えるのは子どもの成長に望ましくないと思う。安心して登下校ができ、外でのびのび遊べる地域社会づくりが大人の責任ではないだろうか。

我が白寿会もそんな地域社会づくりの一助として、日頃地域で活動する機会のもっとも多い私どもが常に目を向けなければならない。活動の一環として、地区ごとでタスキをかけての安全パトロールや車へのステッカーを貼り、この運動高揚をはかっている。すでに毎日行動を実践している方もあり今後も積極的に取り組みます。



子どもの安全・安心確保にご協力を！

水沢小学校PTA会長 中川義文

平素は、水沢小学校PTA活動にご協力いただき誠にありがとうございます。昨年末、広島、栃木県において小学生が下校時、殺害されるというとても悲しく、痛ましい事件がおきました。

そこで、小学校PTAでも「安全パトロール」の強化、「こどもをまもるいえ」の見直し等、また、地域の皆さんのご協力により子どもの安全確保に努めていただいております。

この水沢地区から事件・事故を未然にふせぐために子どもたちに目くばり、気くばりをさせていただき、各ご家庭でも「安全」について話し合ってくださいますようお願いいたします。

最後になりましたが、日頃、地域の皆さんの子どもたちの安全に対する活動に感謝するとともに、今後も未永く活動していただきますようよろしくお願い申し上げます。

水沢三二情報

2005 四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル

「第一回全国ジュニア自転車競技大会」
「ツール・ド・ジャパン2005四日市ステージ」



平成17年11月6日（日）水沢・桜の地で盛大に実施されました。

本大会は、総務省、文部科学省から「スポーツ拠点づくり推進事業」に認定され、10年を目標に継続的に開催し、青少年のあこがれ、目標とする自転車競技の「聖地」づくりを目指しております。

この大会が青少年の健全育成につながることはもとより、今後水沢地域の活性化、特に雄大な自然を背景にした、伊勢茶の産地、花卉園芸の産地として全国へアピール・発信する絶好の機会ととらえ、積極的に関わっていくことを願うものです。



もみじ祭り

水沢地区の宮妻町には、四日市唯一の景勝地「もみじ谷」があります。先人たちが残した偉大な遺産を受け継ぎ、守り育てるために「もみじ祭り」を開催しています。昨年度は11月23日～11月30日まで開催。模擬店では、地元「きららの里」会員が栽培、収穫した餅米で作った茶餅などを販売し地産地消。ウオーク大会では、紅葉を楽しみながら、水沢のお茶畑や里山の自然と宮妻峡の素晴らしさを歩いて体験しました。里山体験教室では、親子で自然豊かな水沢の自然環境と自然保護の大切さを確かめ、きこりになって森を守ったり、木の実などでクラフトづくりの活動を行いました。



「今日も生き生きと
過ごしたいなあ
言葉、笑顔は贈り物」

朝、家族に「おはよう」と明るく言った場合と暗く言った場合とを比べてみてください。元気にボンーといかないと気持ち良く響きません。そのあとに続く会話まで違ってくると思います。言葉によって出るのは何でしょう？それは人柄です。「言葉は人なり」と言われるわけですね。

生き方を努力して作るとそれによってまわりも生き生きしてくるから不思議です。ところで、あなたはどのように「息をしていますか？」？吸って吐く・吐く・吐く・終わる。吸っている間は人との交流があるわけです。よかったです！まだ息を吸っていますね。それでは息を吸って・吐いて「挨拶をする・話をする」を試みましょう。これは息をプレゼントするということなのです。「有り難う」「お世話になりました」「気をつけてな」こんな言葉を心を込めて言ってみてください。息の吐き方が声に出、言葉に出、より相手の心に響きます。（お得です）息が弱いと弱気、強いと強気、押し付け、短いと短気。これでは人の心が読めなくなりま

ね。一生懸命に話しているつもりでも聞く人の受け止め方があるので、息を上手に吐いて話をしないと相手に感じが悪いと印象づけてしまうことがあります。だから息が生き生きと活気に満ちていることが大切です。「おはよう」2音目が高いことが元気に聞こえるコツです。聞こえないような声で「おはよう」おなかですいた？朝から不幸せ・にならないように。笑顔も大切「笑う門に福来たる」でこれがいんですよ。「ウィスキー」と言ってみてください。そうそう口の端が上がり笑顔美人、スマイルハンサムの出来上がりですよ。努力することは山ほどありますが、まず2点、早口をやめ、ゆったりと息と笑顔をプレゼントして（ただですよ、お返しありますよ）今日も一日輝きましよう。

「ご寄付ありがとうございました」

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただいております。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いいたします。平成十七年十月以降十八年一月末日までに「ご寄付いただきましたのは、次の方々です。」

川口 昭紀 様（水沢本町）
石崎 礼子 様（水沢中谷町）
森 祐司 様（西條町）
前田 正人 様（水沢中谷町）